**エントリーシート（Safety Driving Award 2025）**

|  |  |
| --- | --- |
| 対象部門 | 営業車部門　／　運送事業部門　（どちらかをお選びください） |
| 企業名 |  |
| 部署名 |  |

※別紙の回答に関する手引きも参照の上、ご回答ください※

|  |
| --- |
| 1.あなたの会社が社用車の交通事故削減のため特に力を入れて取り組んだ内容を教えてください。（必須）（400～800文字程度）  ※事故削減の成果をあげるために「特に工夫した点」を重点的にご説明ください。 |
|  |
| 2.上記の取り組み前と比較して、交通事故削減に関して得られた成果を教えてください。（必須） |
| |  |  | | --- | --- | | 交通事故の総件数が削減された | はい／いいえ | | 重大事故（人身事故や損害の大きな事故）が削減された | はい／いいえ | | ドライバー・管理者の安全意識が高まった | はい／いいえ | | サービス品質向上に繋がり、お客様の満足度が高まった | はい／いいえ | | 交通事故削減・安全管理の業務が効率化された | はい／いいえ | | 第三者から安全管理にまつわる取り組みの表彰を受けた | はい／いいえ | | 交通事故関連コスト（自動車保険料や修理費など）が下がった | はい／いいえ | | その他（3.にて詳述ください） | はい／いいえ | |
| 3. 2.にて得られた成果として「はい」を選んだものについて、具体的な成果内容を教えてください。（必須）（400～800文字程度）  ※たとえば事故件数なら削減割合、事故種別などを具体的にご記載ください |
|  |
| 4. あなたの会社が社用車の交通事故削減に力を入れて取り組む理由、日頃から社内で共有されている安全管理に対する考え方を教えてください。（任意）（400～800文字程度） |
|  |

＜アンケート＞

※昨年のエントリー企業の中で優れた交通事故削減の成果をあげていた各社が重点的に取り組んでいた内容を以下にご紹介します。あなたの会社での取り組み状況についてチェック方式でご回答ください。

※本アンケートで当てはまると選択された項目については、具体的な取り組み内容を追加ヒアリングにて伺わせていただく可能性がありますのであらかじめご了承ください。

当てはまる項目に「●」を入力してください↓

|  |  |
| --- | --- |
| 1.【経営陣からの発信】定期的に全社向けに交通事故削減の重要性にまつわるメッセージを経営陣が直接発信している |  |
| 2.【経営陣への報告】全社の交通事故削減の取り組み状況や成果を定期的に経営陣に報告・共有する場を設けている |  |
| 3.【振り返り】本社や拠点の管理者が、定期的に交通事故削減の取り組み成果を振り返っている |  |
| 4.【個別指導】ドライバー個人ごとの運転特性や改善すべき課題に合わせた指導を行っている |  |
| 5.【指導の質向上】管理者によるドライバーに対する指導の質を向上させる研修や教育機会がある |  |
| 6.【運転技術の向上】ドライバーの安全運転技術を高めるためのトレーニングを定期的に実施している |  |
| 7.【表彰制度】安全な運転をしているドライバーや拠点を表彰する制度がある |  |
| 8.【社内キャンペーン】季節や自社の課題に合わせた交通安全運動など定期的に安全意識が高まる独自のイベントを実施している |  |
| 9.【社内規定】運転時に危険な運転を発生させないような社内規定と罰則をセットで整備している |  |
| 10.【情報共有】点呼、朝礼、部門の打ち合わせ時などに、直近発生した事故やヒヤリハットの情報・映像を共有している |  |

**別紙**

**～エントリーシート回答の手引き～**

1. 取り組み内容について

＜組織としての体制・仕組みに注力している場合＞

* 会社としてのルールや仕組みを刷新することは大きな困難を伴うことが多いです、どのようにその壁を乗り越えたかをご紹介ください
  + （例）直近で発生している事故の原因分析から、労働時間過多による注意力散漫が多数を占めることが分かり、勤怠管理ツールを活用して、労働時間の管理を徹底することから始まり、短い労働時間でも同じだけの成果をあげられるように全社をあげての●●業務効率化を進めた　など
  + （例）本社からのアナウンスだけでは拠点の安全意識改善には不十分な状況であったため、拠点の責任者を巻き込むことに注力した具体的には拠点管理者の評価項目に拠点別の事故数や違反数を設け、毎月の本社経営陣との報告会の中で改善状況を振り返るように設計した　など

＜管理者やドライバーとのコミュニケーション改善に注力している場合＞

* 指導の質を改善すると言っても、指導される側の行動や意識の変容に繋げる難易度は高いです、どのような工夫によって自分ゴト化を促したかをご紹介ください
  + （例）特に自拠点で多い事故傾向をデータで分析し、事故の背景にあったドライバーの原因となる行動や地域的に類似事故が起きやすい場所などを拠点の管理者とドライバーにて議論する場を設け、双方が合意した注意事項を作成　など
  + （例）

1. 取組によって得られた成果について

※定量的な実績、定性的な反応、どちらもぜひご記載ください

＜定量的な実績＞

* 実施前の一昨年比で、昨年は事故総件数が●分の1に減少した
* 特に重点削減目標としていた「追突事故」「出会い頭事故」について0件に抑えられた
* 優良割引率が昨年の●%から今年は●%まで大幅に改善

＜定性的な実績＞

* ドライバーの安全意識が高まり、自発的に事故対策に繋がる取り組みを議論するようになった
* 事故削減の取り組みについて依頼を受けて業界団体の勉強会で講演を行い、ノウハウを共有した

など

1. 自社が安全管理に力を入れる理由について

※社内で日頃から共有されている想いや考え方などをぜひご記載ください

＜イメージ＞

* 当社はお客様先に訪問してご提案、保守点検などのサービス提供を行っています。社用車によるお客様先への訪問は事業活動と切っても切り離せない要素です。
* お客様先への訪問頻度もおのずと増えるため、車両にロゴが付いていないと言えど「〇〇な車両がこの辺りをよく走っている」と地域の方が認識されることもあります。
* そのような背景もあって、お客様先を含めた地域の信頼を得ないことには十分な営業活動を行えず、安全運転・事故の抑制は非常に重要な課題と認識しています。
* 月次での経営陣と現場営業担当が集う打ち合わせの場でも、必ず「顧客からの信頼無くして売上無し」と取り上げられます。
* こうした理由もあり、当社では経営から現場の営業担当まで含めて、社用車の交通事故削減に力を入れています。